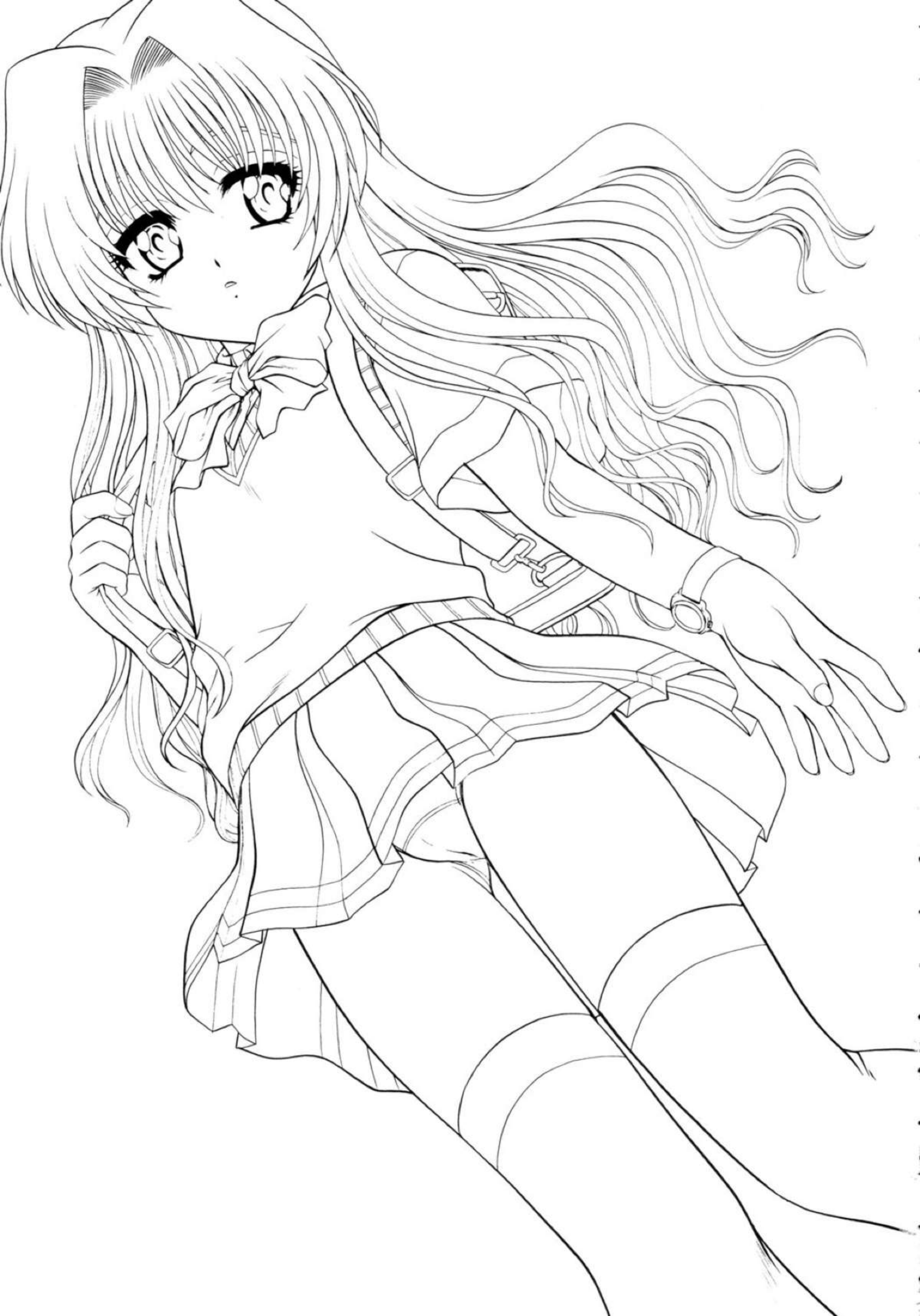




*BLUE BLOOD'S*

**vol. 10**



こんにちは、BLUE BLOODです。

というわけで今回は「おねがい\*ティーチャー」＝「おねてい」なのです。  
元々アニメをそれほど見る方ではないのですが、「おねてい」はそれこそ  
「萌え」一点突破で全話見ました(´▽´)。

DVDはもちろん全て初回版を買ったし、「はちみつ授業」もCD3枚全部  
買って聞いたし、ミュージックコレクションも見まくり聞きまくりでした。

「萌え」とは恐ろしいものですね(´^`;)。

どちらかというところ(というより紛う事無く)年上属性の僕は当然みずほ先生ラビュン  
なわけで、実の所最初はみずほ&はつほの母娘どんぶり本などという大層濃い味付けの本を画策してたりしてなかつたりだったので、蓋を開けてみればご覧の通り「影のヒロイン」こと莓メインの本になってしまいました。なぜなら現在僕はロリ強化期間中だからです(´ω´)v。

というのはまあ半分冗談ですが(半分か)、莓を描こうと思ったのはやはり純粹に莓というキャラが好きだからですね。設定的にもデザイン的にも。

ではでは、キャラ的にかなり偏った内容になっておりますが、楽しんで読んでもらえれば、と思いますm(\_ \_)m。

→  
「莓のポニーテール姿はかわいいかな、ウヒウヒ」と思って描いてみましたが、なんかまるっきり新キャラですな(´Д´;)。





ああ  
俺達は進まなきゃ  
いけないんだ

口で言うほど  
簡単じゃないのは  
分かってる



自分から…  
前へ…？



「停滞」する怖さも  
淋しさも…草薙君は  
分かってる…

ううん…草薙君  
以外の誰にも  
分からないわ…

迷惑なのは  
分かってる…  
でも…

お願い…  
私を助けて…



でも…完全じゃ  
ないけど…  
できるんじゃないか  
かって…

そう思えるように  
なったんだ  
だから森野も…



…他の人にそう  
言われても何も  
感じなかった  
でしょうね…  
でも…



も…森野!  
何を…!?

あはれ



私一人だけじゃ  
そんな強さ  
なんて…

でも…



森野…

同じ痛みを  
知ってる  
草薙君となら…

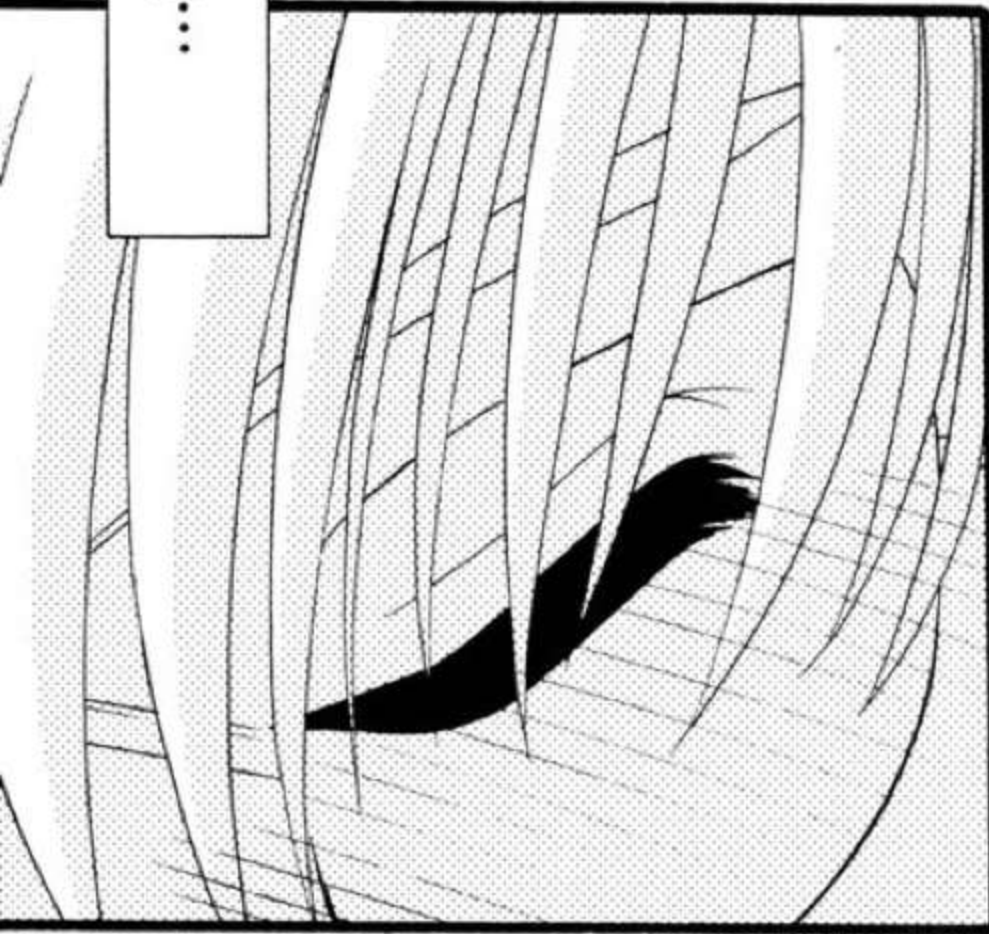


「自分で前に進む」  
と言った草薙君の  
強さ…

私にも分けて  
欲しい…



森野…



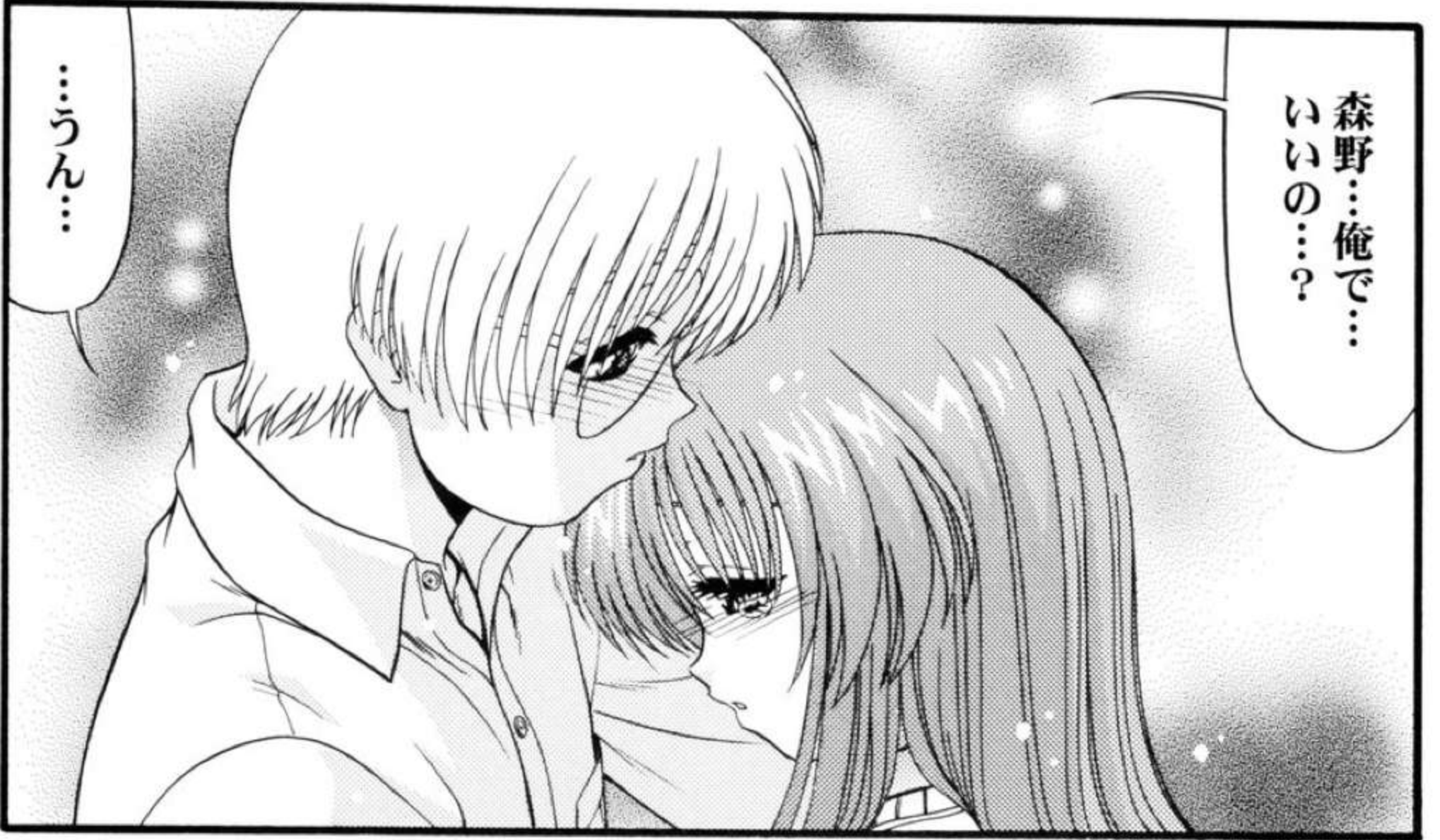
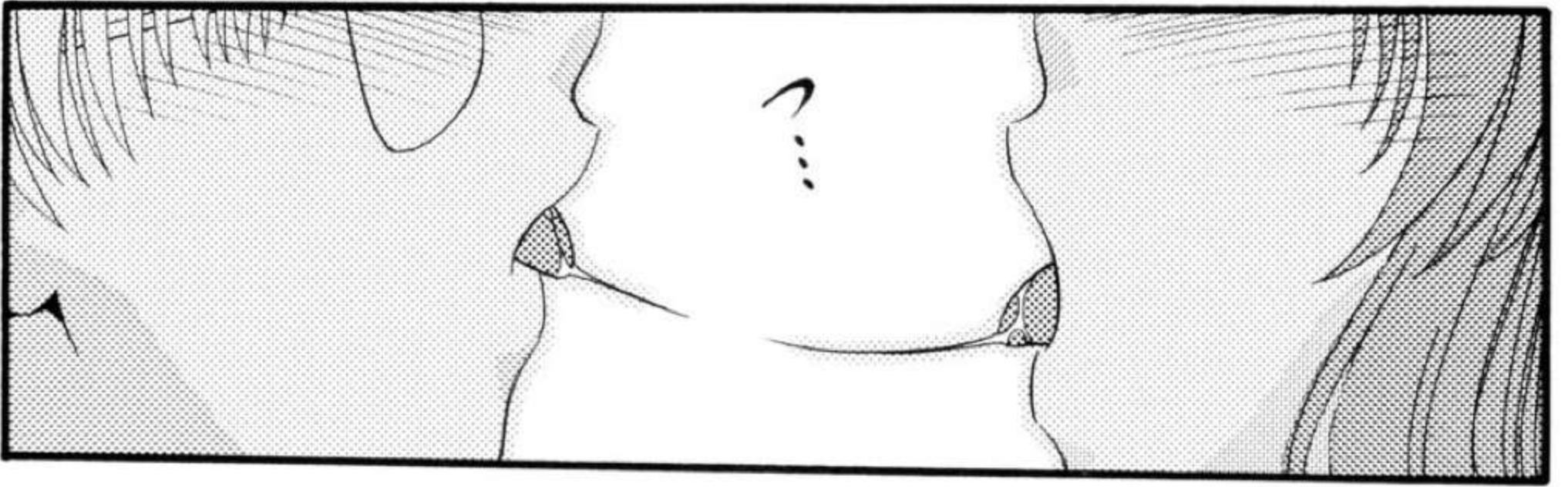
ん…

ん…  
ふう…



私…  
もう…

「停滞」したく  
ない…



森野…俺で…  
いいの…？

…うん…



あッ…

ドン



ん…

きゅっ



草薙君…

森野の胸…  
真っ白でとても  
きれいだよ







恥ずかしがる  
事はないよ

森野のココ…  
とてもいい  
匂いだ…

や…ダメ  
そんな所に  
顔を近付け  
ちゃ…



ひゃー♡

はあッ…  
そんな…

草薙君…  
ダメ…



そしてちよつと  
いやらしい  
匂い…

すごく興奮  
するよ…

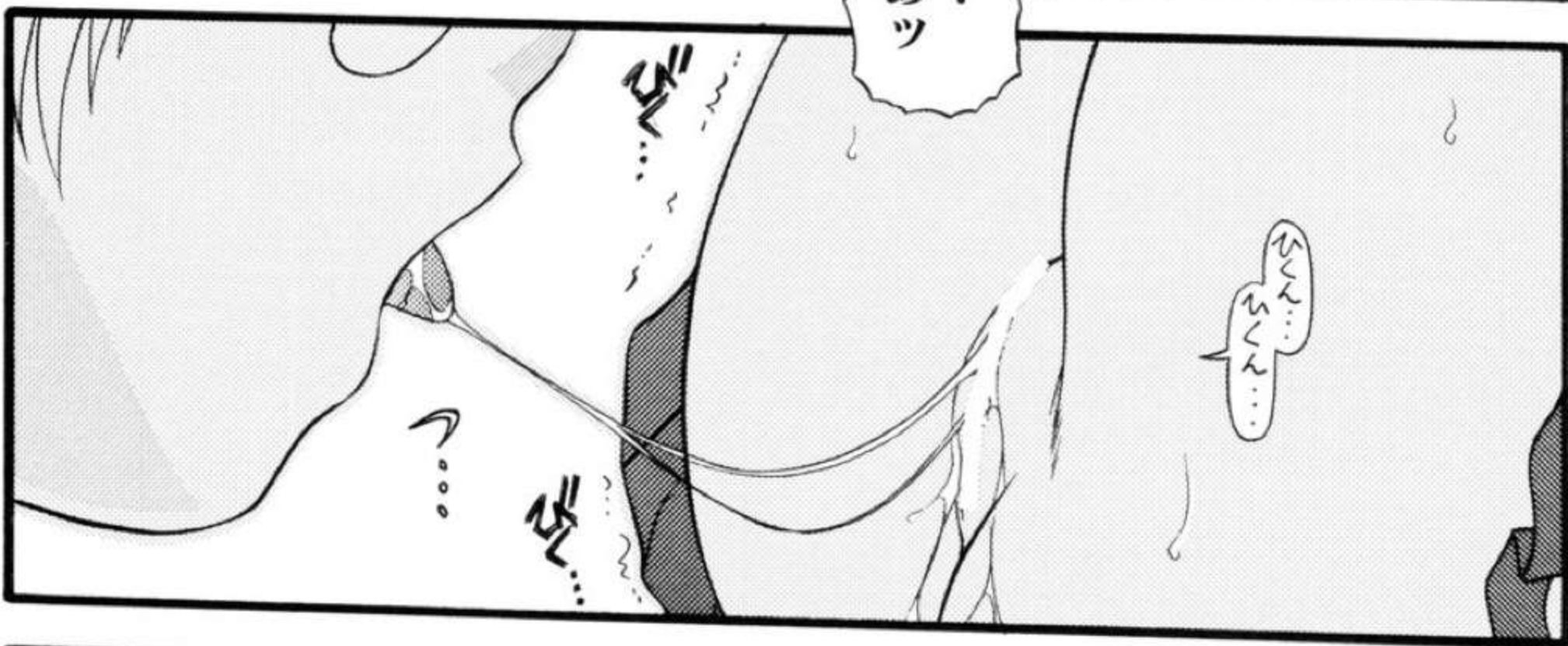


ふあぁッ♡

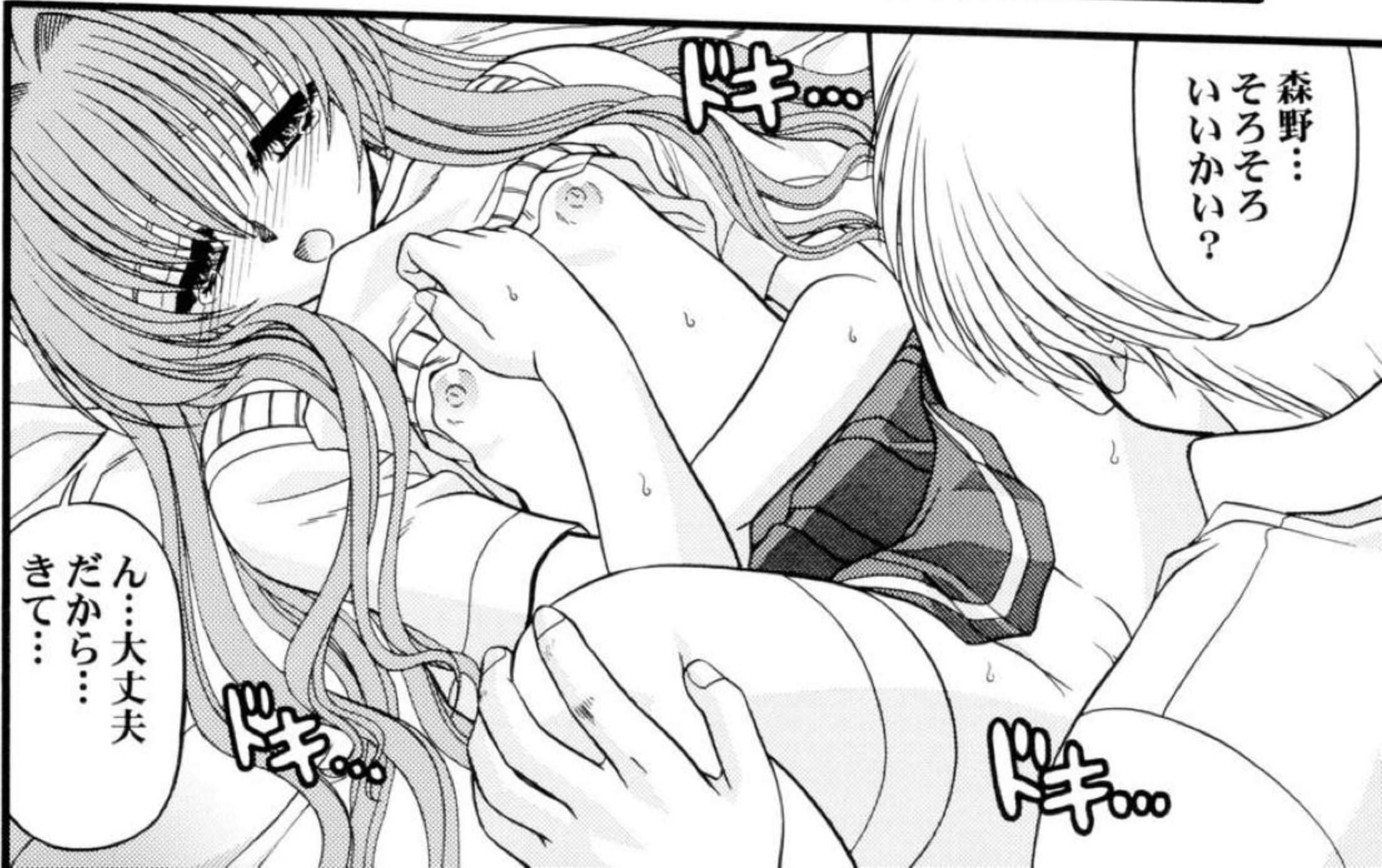
スゴ…  
体中に電気が  
走ってるみたい…

こんな事って…

あッ…  
んあぁッ



ひん…  
ひん…



森野…  
そろそろ  
いいかい？

ん…大丈夫  
だから…  
きて…

ドキ…

ドキ…

ドキ…

いくら二十一歳  
とはいえ「停滞」の  
せいで体は  
成長しきって  
いないんだ…

優しくほぐすように  
入れていかなきゃ…

ゆっくり少しづつ  
入れていくから…

痛かったら  
言って

ん…  
もう少し  
大丈夫…

っふ…

んくうツ…  
んツ…

はッ…

っふ…

あッ…

はうツ…  
あッ…

んんツ…  
あッ…

あッ…あん  
いッ…はッ…



森野：  
奥まで全部  
入ったよ  
大丈夫？

う…うん…  
思ったよりも  
痛くなかった  
から…

ミチッ…



はッ…  
あッ…

んッ…  
んふうッ…



だからもう少し  
動いても  
平気よ…



分かった…  
じゃあ少し  
強くするよ…

ん…



奥まで…  
届いてるッ…♡

気持ち  
良すぎて…

スゴ…  
森野の中…



んああッ…  
はうッ…  
草薙君の…

あはあッ♡



いいよ…  
大丈夫  
だから…

もっと草薙君の  
好きなように  
動いて…♡



や…そんな  
に吸つちや…

七瀬

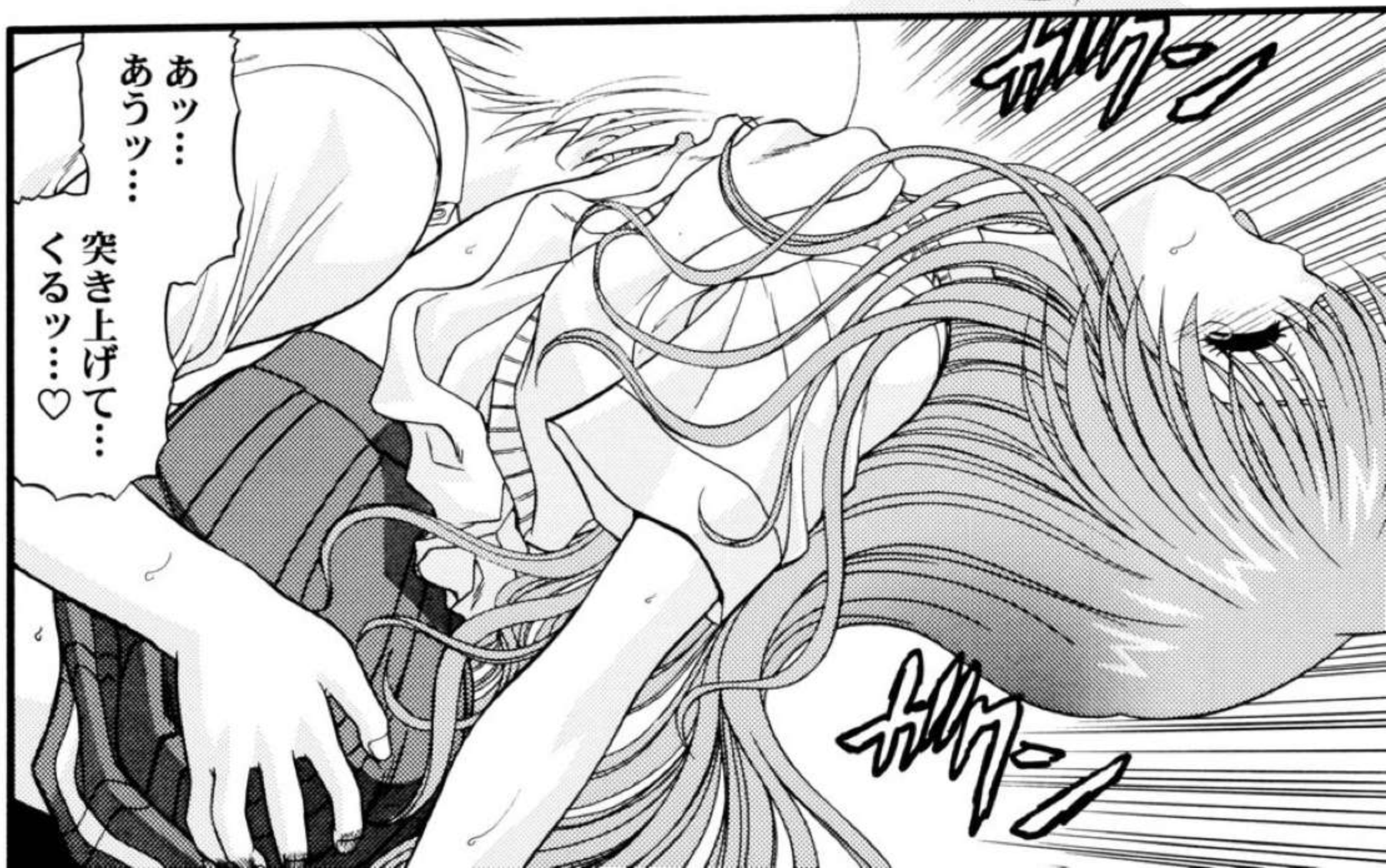
スッ

スッ



ひああッ!!  
深いッ!!

スッ



あッ…  
あうッ…

突き上げて…  
くるッ…♡

スッ

スッ



私の中に全部  
出してッ…♡

ん…きて…  
そのまま…



も…森野…

俺…  
もう…



やあッああッ♡  
熱いの…  
いっぱいッ…♡



…草薙君…

…ん…?

…ごめんなさい…

…何が…?

こんな事…  
刹那的だと  
思うでしょう  
けど…

私には頼れる人が  
いるって事を実感  
したかったの…

あの時に一度  
失ってしまった  
から…

幼なじみの  
三人はいつも  
一緒だった…

私と…妹と…  
彼…

中学生の時  
彼に告白された…  
とても嬉しかった…  
私も彼が大好き  
だったから…

でもその事は妹に内緒  
だった…昔のままの  
仲良し三人組で  
いたかったから…



あの日は  
夕方まで帰らない  
はずだった…

君が  
好きなの!!

他の誰にも…  
お姉ちゃんにも  
渡したくない!!



でも俺は  
苺ちゃんが…

嫌!!  
私を見て!!

何をしてもいいから  
何でもしてあげる  
から私を見て!!



家では妹が一人で  
留守番してる  
はずだった…

「昔のままの  
三人で」という  
未練で私は  
動けなかった…

そして私は  
残酷な現実を  
突きつけられた…



憎悪にも似た  
妹の嫉妬が  
つらかった…

彼の裏切りが  
悔しかった…

後ろに退く事で  
彼を諦めたく  
なかった…

前に進む事で  
三人の関係を  
崩したく  
なかった…

現実を  
受け入れる  
事が出来ず  
前へも後ろへも  
進めなかった  
私は…

止まって  
しまった…

次に目が覚めたら  
六年もの月日が  
流れていた…

妹と彼は成長して  
結婚して来年は  
親になるという  
のに…

私だけあの時の  
まま…まるで  
リップ・ヴァン・  
ウインクルね…

森野…

ごめんね  
こんな話…  
でも…

今まで誰にも  
話せなかった  
から少し楽に  
なった…



…俺はね

自分が止まりたく  
ないのと同じ位  
森野を止まらせ  
たくないんだ…

草薙君…

だからどんな  
事でも俺が森野の  
力になればら  
嬉しいと思うよ



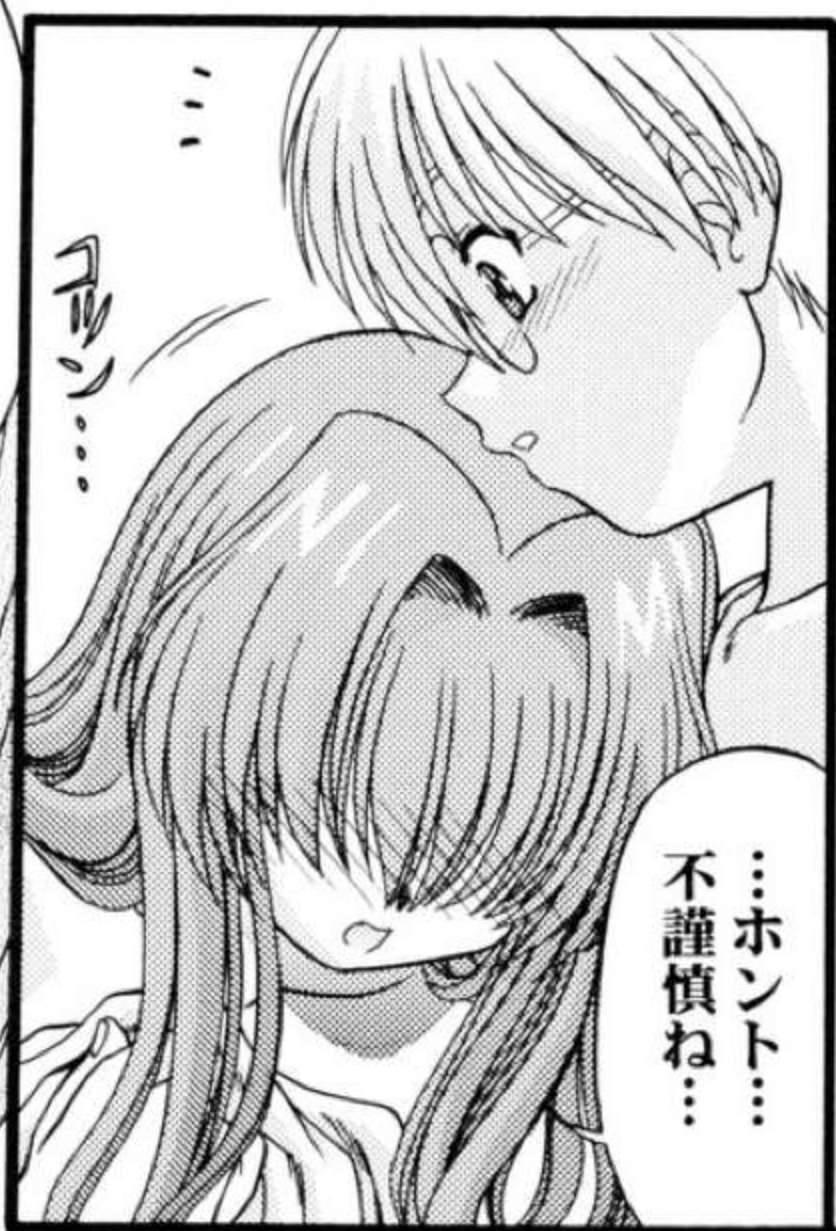
それにね  
こんな時に不謹慎  
だけど…

森野とこんな事が  
できて役得だ  
と思ってるんだ



「止まりたくない  
じゃなくて  
「前に進みたい」  
と思えるように…」

でも…  
ありがとう…  
私も頑張って  
みる…



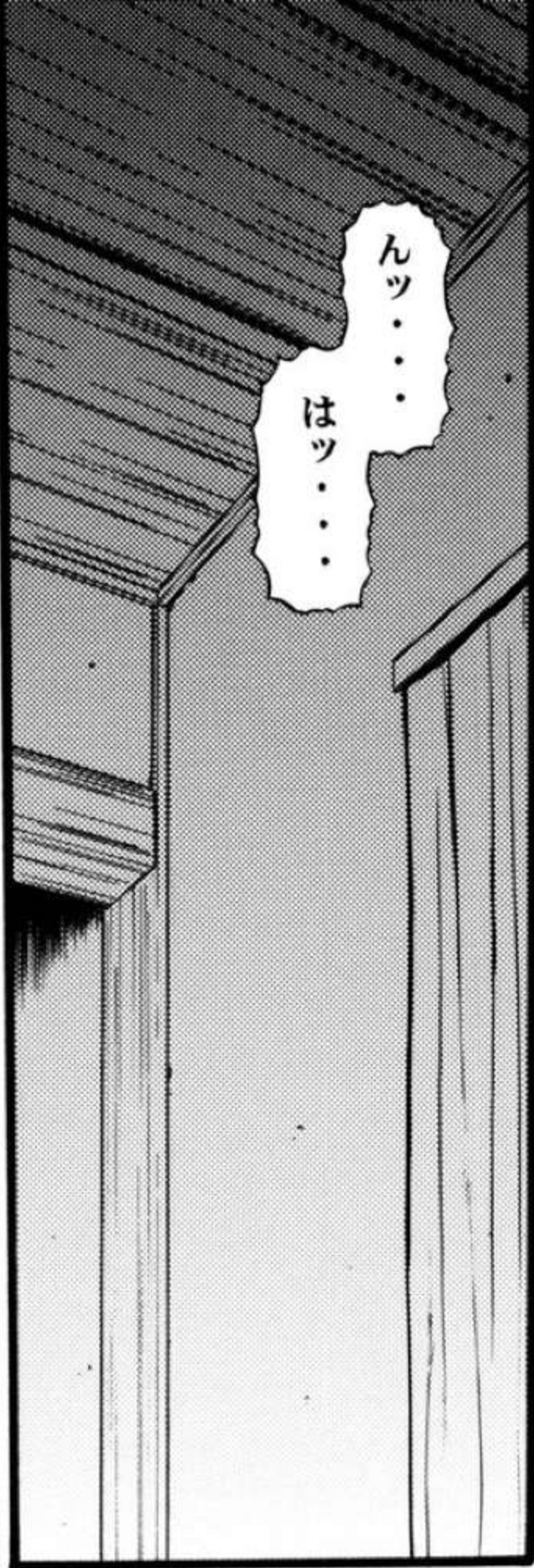
…ホント…  
不謹慎ね…





せ...  
先生...  
ッ

うあッ...  
はッ...



んッ...  
はッ...



んッ...

んッ...

はあッ...  
はあッ...  
♡♡



んッ...

んん  
ッ...  
♡♡



んん  
ッ...

んん  
ッ...



うん・・・とても  
・・・んツ・・・  
今日の先生・・・

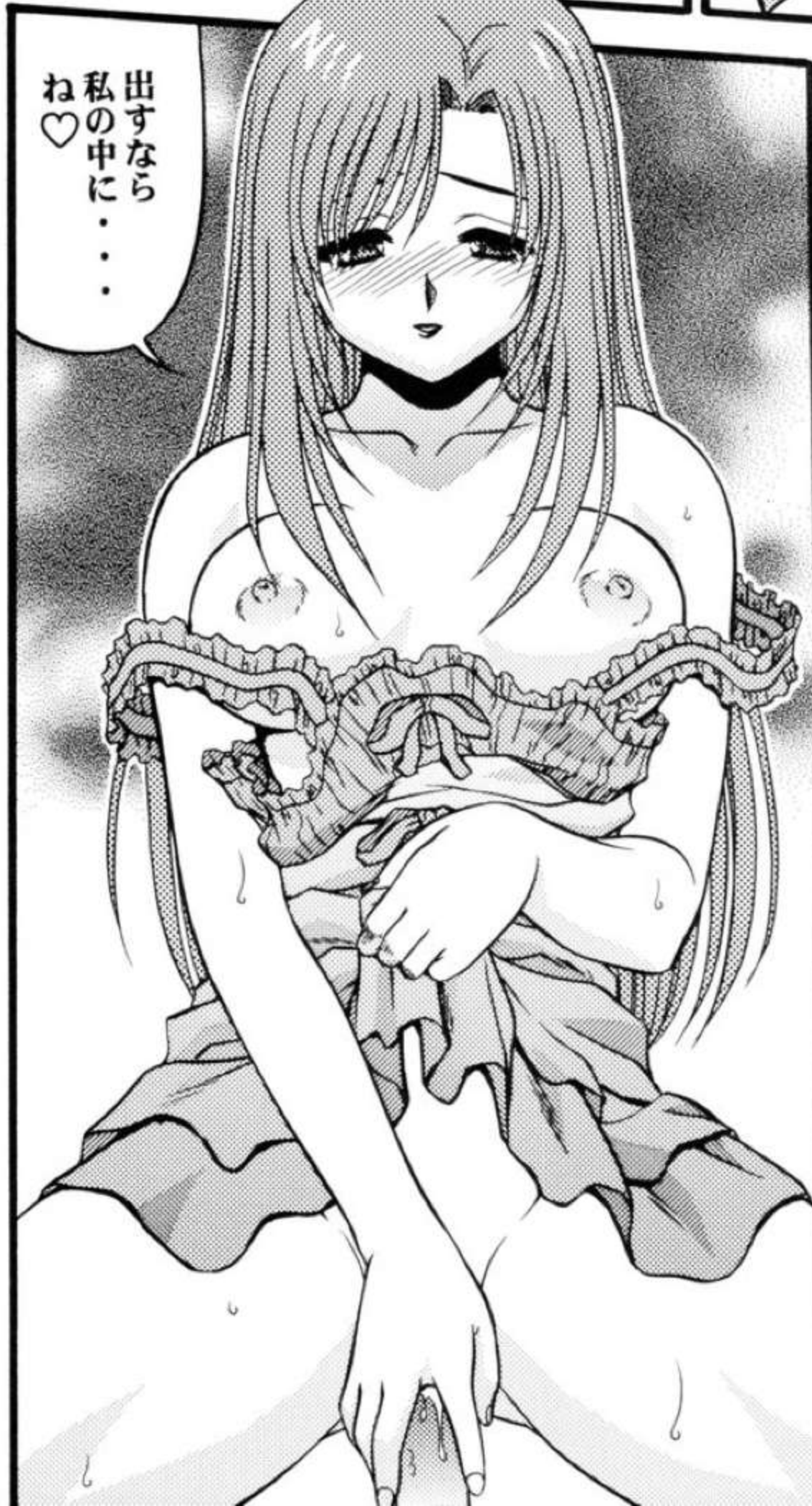
きゃ♡  
感じてる  
桂君って  
かわいい♡

なんかいつも  
より・・・あツ・・・  
スゴくて・・・



桂君・・・どう？  
気持ちいい？

♡♡♡



出すなら  
私の中に・・・  
ね♡



うあツ・・・  
先生・・・

ソコ・・・  
出ちゃうよ・・・

○○○

40  
40



あん・・・  
まだ出しちゃ  
ダメ・・・

はあ

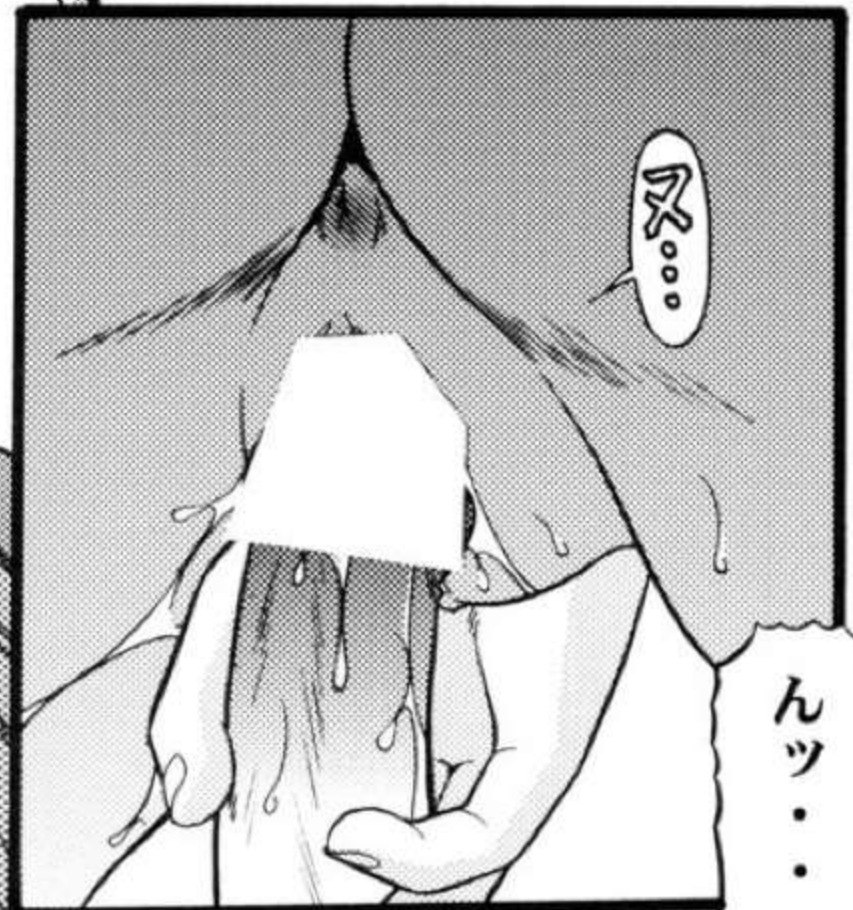
はあ

はあ



もつと・・・もつと  
突き上げてえツ♡

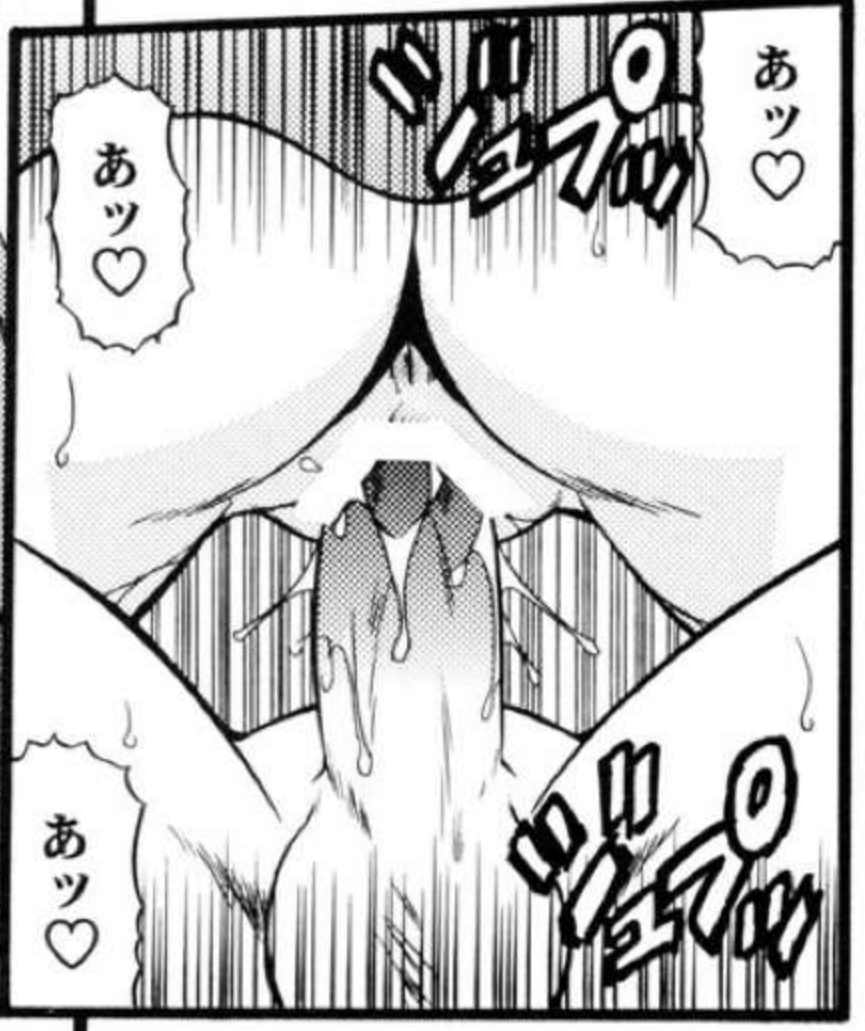
ああツ♡  
いいよ桂君♡



んツ・・・ああツ♡



桂君のが  
入ってくるうツ♡



あツ♡

あツ♡

あツ♡



先生の中・・・  
俺のに絡み  
ついてきて  
とても気持ち  
いいよ・・・

はあッ  
ああッ  
♡♡

ズワッ  
ズワッ

ああッあん♡  
素敵・・・  
素敵よ桂君♡

先生ツ・・・  
先生えツ・・・！

先生・・・  
愛してるよ・・・

ダメ・・・  
桂君・・・

私もう・・・  
もうダメエツ♡

ん・・・  
桂君・・・♡

♡  
ツワッ

♡  
ツワッ

♡  
ツワッ

♡  
ツワッ

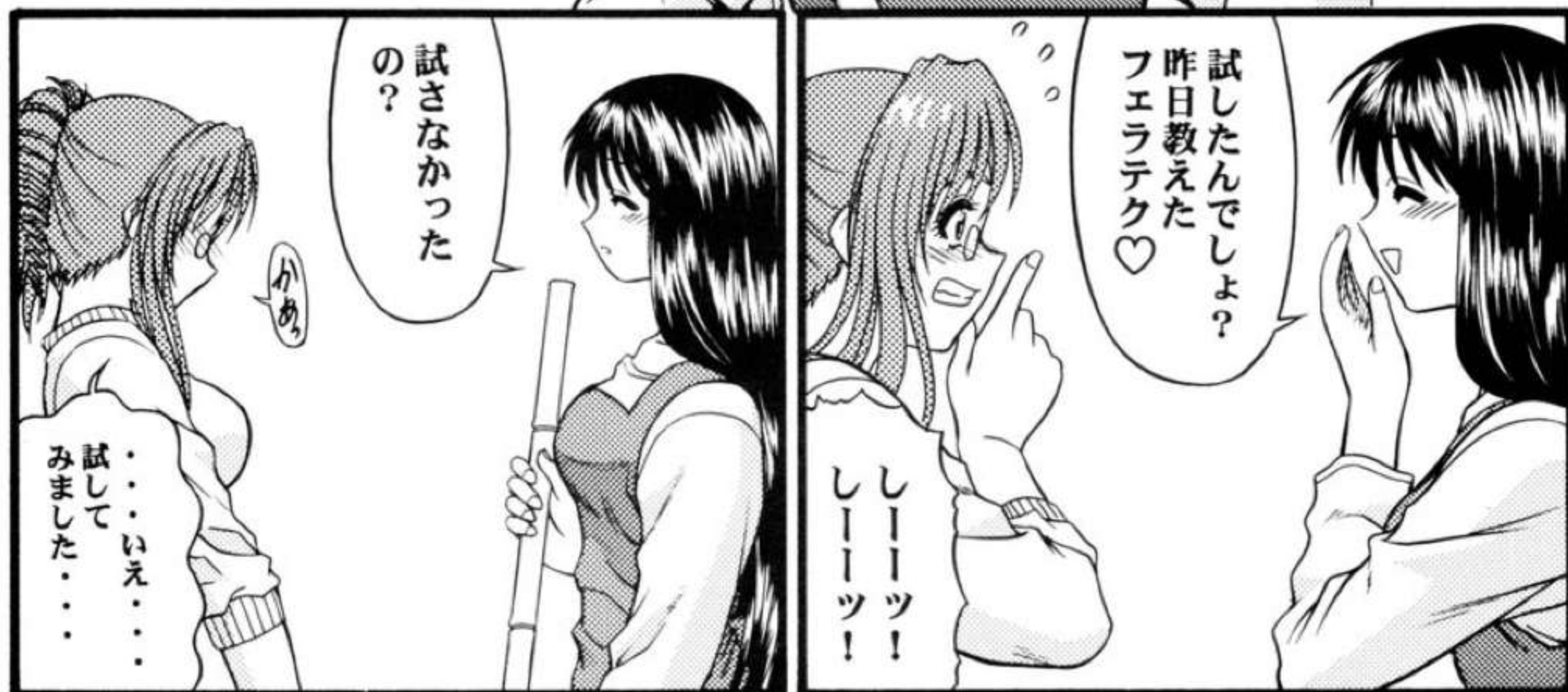
♡  
ツワッ



おはよう  
ございます  
みずほ先生

昨夜は  
どうだった？

え？  
どうって……



試さなかった  
の？

かあ

……いえ……  
試して  
みました……

試したんでしょ？  
昨日教えた  
フェラテク♡

しーっ！  
しーっ！



その……桂君  
とても感じて  
くれて……♡

私も……とても  
嬉しかったです……♡

あら良かった  
その時の桂君  
どうだった？

きゃー♡

それがもう  
殺人的に  
かわいくって♡



あら

そんなに  
かわいいんなら  
私も見てみたいわあ♡

お母さん!  
どうして  
ここに!?



ちよつと様子を  
見に来たの  
だけど...

かあっ

潤いのある  
新婚生活を  
営んでいるようで  
何よりだわ



挨拶が遅れて  
申し訳ありません  
みずほの母で  
はつほと申します

娘がいつもお世話に  
なっております



とんでもありません  
こちらこそ良い  
お付き合いを  
させて頂いて  
ますわ

はじめまして  
このはと申します



なんだか初めて  
会った気が  
しませんわね

ええ  
とてもお話が  
合いそうですわ

良かったら家で  
お茶でもいかが？

愛情は当然  
だけど...

ある程度の  
テクニクも必要よ



唾えてあげる  
だけじゃなくて  
こう口をすほめて  
吸ってあげるの♡

舌も忘れ  
ないでね♡

先っほだけじゃ  
なくてウラスジも  
舐めてあげてね♡

同時にタマを  
優しく揉んで  
あげるといいわ♡  
あとお尻の穴とか♡

オ...  
オ尻デスカ!?

そうそう  
前立腺って  
いってね...

胸でしてあげる時も  
ただ挟むのではなくて

例えばこう円を  
描くようにしたりね♡

腰の動きは  
緩急をつけてね♡



むに♡

わざとエッチな  
音をたてるのも  
男の子を興奮させる  
コツよ♡

むに♡



くっ♡

気持ち良くして  
もらうのも  
気持ち良くして  
あげるのも  
一緒なのよ♡









桂君♡

桂君は  
年上の女性って  
好き？



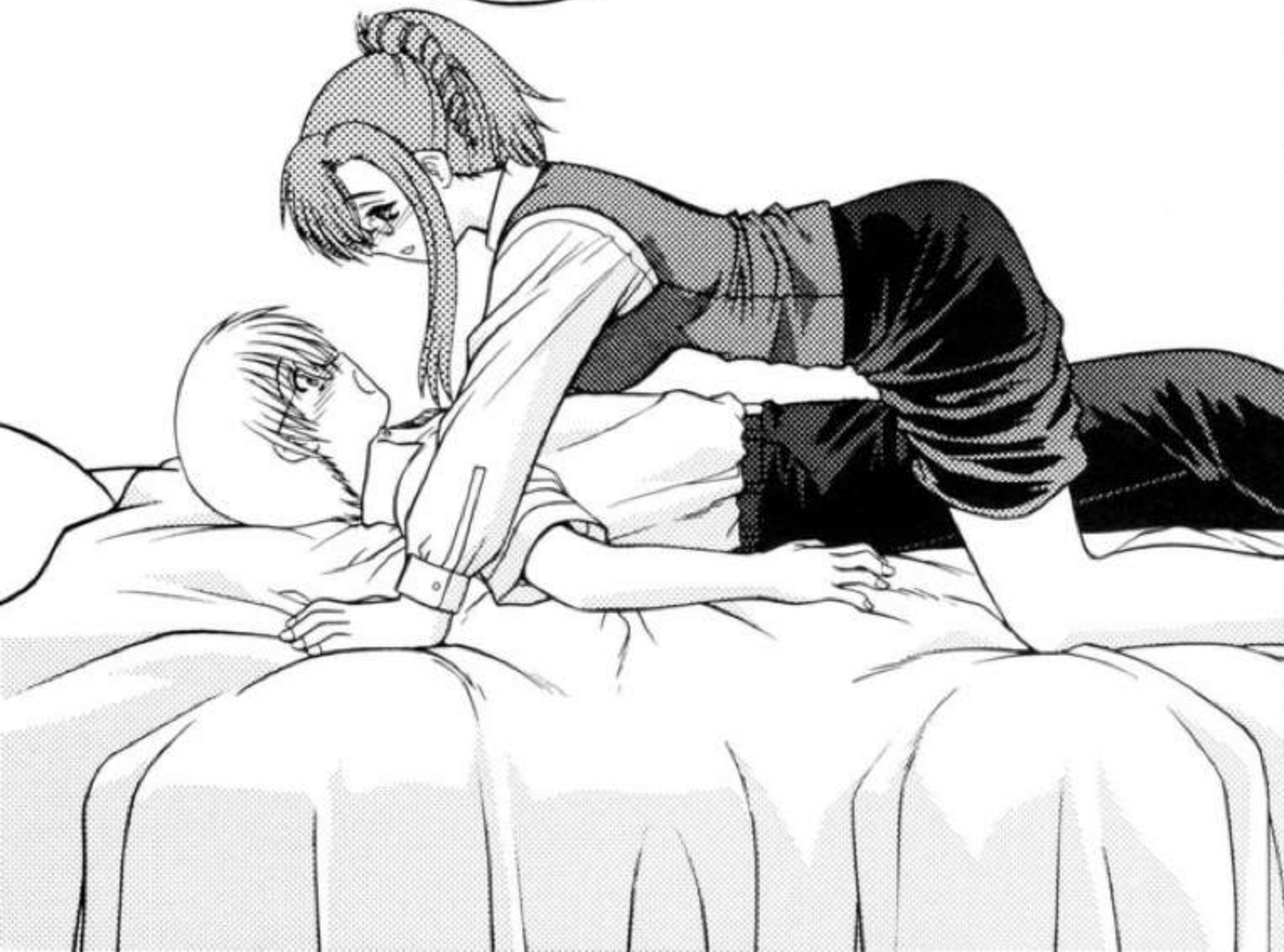
は…はいっ  
好きですっ

お姉さんに  
見も心も包んで  
欲しい？

はいっ

あんな事や  
こんな事を  
手取り足取り  
教えて欲しい？

はいっ







うふふ♡いいわ  
全部お姉さんに  
まかせて

わわッ!!  
森野!?  
いつの間にも!?

大丈夫  
怖い事は何も  
ないのよ



年上の女性が  
好きなんでしょ?  
選挙権も持つてる  
バリバリの  
お姉さんよ

21歳 →

← 18歳

た…確かに  
年上には違いない  
と思うけど…



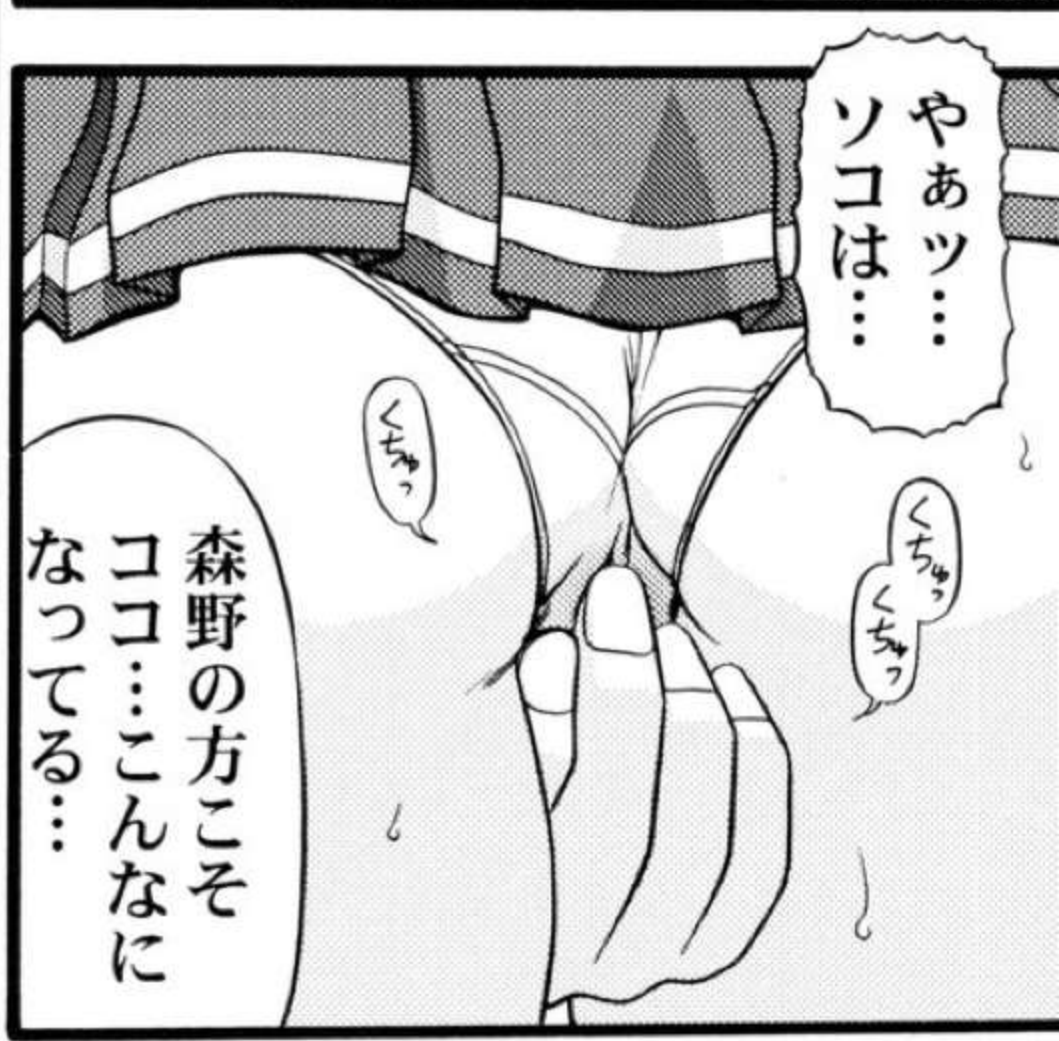
恥ずかしがる  
事はないわ  
身も心も包んで  
あげる♡

かっはあッ

あんな事や  
こんな事を  
手取り足取り  
腰取り教えて  
あげるわ♡

腰取りって…  
わーっ!!







うあッ：  
森野の中とても  
キツくて…

俺のをグイグイと  
締め付けてくるよ



はううッ♡  
あっあん♡



い…  
いッ…♡



ふあッあッ♡



草薙君の…奥まで  
届いてるッ…♡



やあッあッ…  
スゴ…

もっと…もっとと  
かきまわしてッ

森野…  
気持ち良過ぎて  
俺もう…

草薙君…  
そのまま…

全部受けとめて  
あげるから…

きて…  
そのまま  
出してッ!!



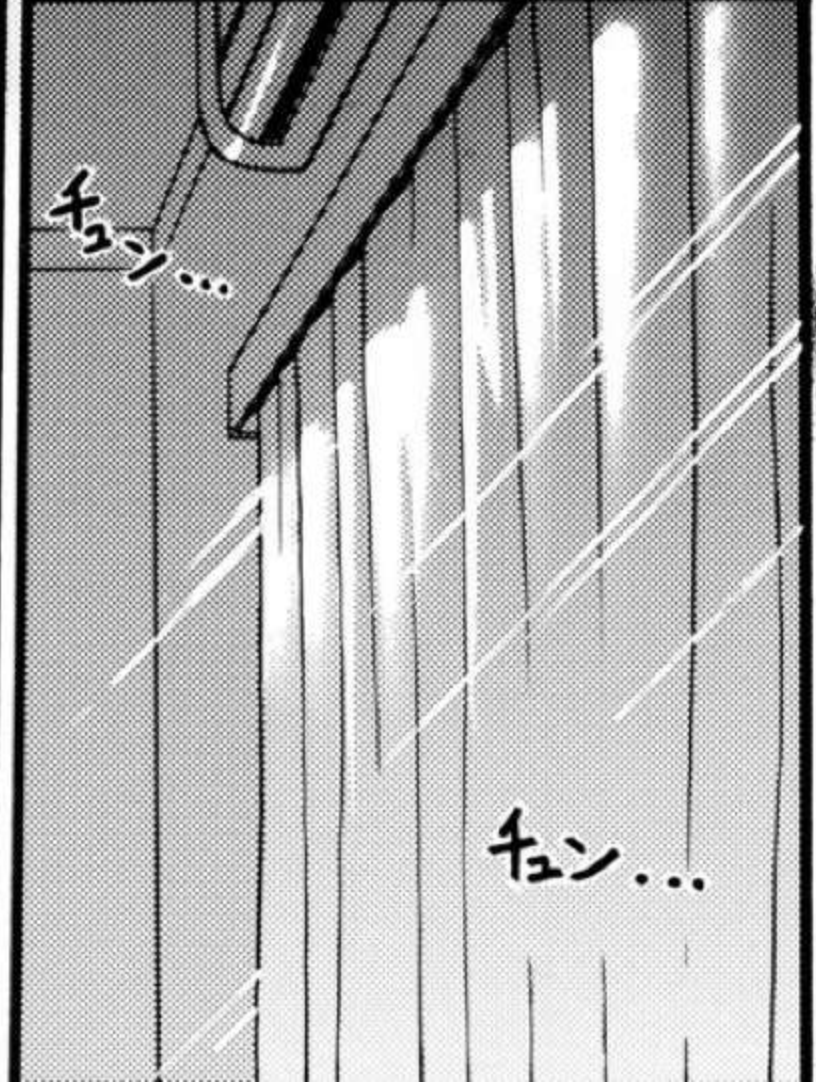
あああッ♡

わ…私もう  
イツちやううッ♡



…十八歳未満の  
お子様には見せられない  
ハードな夢を見て  
しまったわ…

興味はあっても  
願望はないつもり  
なんだけど…



キュン…

キュン…

我ながら随分と積極的だったわ…

ハハハハハハ

この前も草薙君に告白した上に「どんなプレイでも耐えてみせるわ」なんて言う夢を見たし…

ゴッゴッゴッ

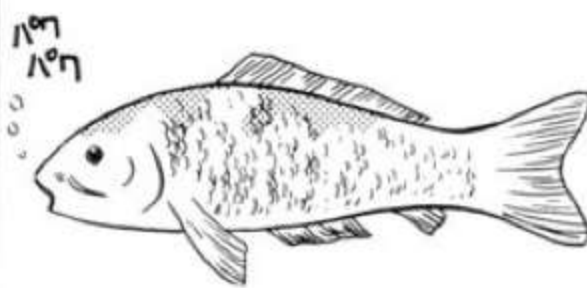
そういえば最近夢によく草薙君が出てくるような…

もしかして私…

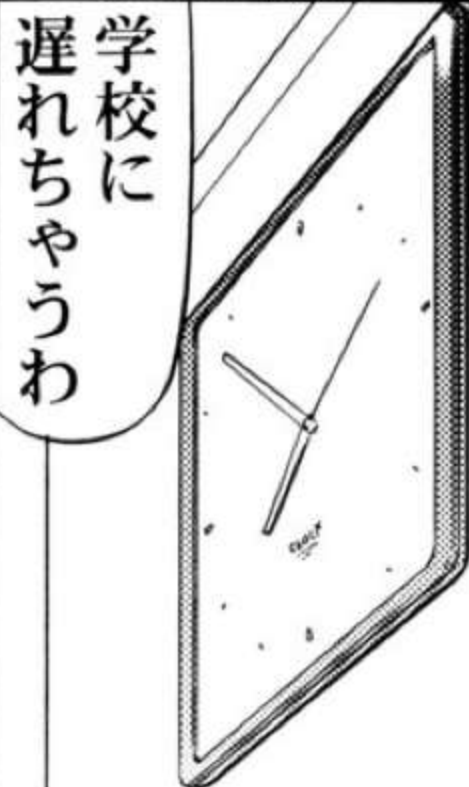
ぼー…

草薙君に恋してるのかしら…

恋…



あ…いけない



学校に遅れちゃうわ

そもそも「おねてい」の同人誌を作るにあたって「莓メインにしよう」と思ったきっかけは「桂が「停滞」するようになったきっかけは劇中で語られてるが、果たして莓はどのようにして「停滞」するようになったのか」という疑問が浮かんだからでした。

桂の「停滞」の原因が姉の自殺でしたから、「莓の「停滞」の理由もそれ相応に重くないといけないかなー」と思いまして、「莓の妹はすでに結婚してて、来年母親になる」というくだりを歪めて捉えた結果、このような内容になりました。

僕が描くと莓に表情がありすぎる感がありますが、劇中でも「停滞」に関しては普段クールな莓が激昂気味でしたし、まあこれはこれで「それだけ「停滞」が莓にとって大きな問題である何よりの証拠」という事で・・・やっぱり言い訳がましいですかね(´^`;)。



最初の莓マンガがちょっとマジモードだったので、あとの短編2本はかなりお遊び感覚の内容になっております。特に莓マンガの方は本来の「クールなロリ」を目指してみました。

みずほ先生マンガの方はなんかもう人喜しが出てきてなくて、当初考えてた母娘どんぶり本の残照が伺えますね。これではつほやこのはのHシーンまで用意しようものなら、相当なこってり味になること間違いなしです。人喜パワー恐るべし(´▽`;)。

今回ロリと人喜を描いたので、次回は真ん中かなーと思いつつも「予定は未定」と煙に巻いてまた次号で\ (´▽`)

←劇中にありましたが、三つ編みは結構萌えですな(´ω`)v。



<発行者>

B L U E B L O O D

<発行日>

2 0 0 3 年 2 月 1 6 日

<印刷所>

パワープリント 様

<URL>

<http://www.fsinet.or.jp/~b-blood/>

<e-mail>

  
<SPECIAL THANKS>

館さん

けーひんさん

インターネット環境を含む

無断転載・無断複製

及び

18歳未満の購入・閲覧

を禁ず

**Presented by  
BLUE BLOOD**

